

■ 上越市白山会館運営員とは

上越市白山会館運営委員は、「上越市白山会館条例」と「上越市白山会館運営委員規則」により定められ、白山会館事業の企画及び運営に関して教育委員会に助言を行い、また、会館の運営管理に関し、必要と認める事項について協議する。

■ 白山会館について

上越市内の同和対策事業を推進するため、地域住民の社会教育活動を助長し、もって同和問題の解決に寄与することを目的として、昭和 47 年に設置された。

以来、上越市の同和教育事業の拠点として、教職員の現地学習会や、小中学生学習会、交流事業などを実施している。

(現在実施している各事業については、資料 1-2 を参照)

**■ 「上越市白山会館条例」の記述（白山会館運営委員に関する部分を抜粋）
(運営委員会)**

第 13 条 会館の適正な管理運営を図るため、上越市白山会館運営委員会を置く。

2 委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

**■ 「上越市白山会館運営委員会規則」の記述（抜粋）
(組織)**

第 3 条 委員会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱する。

- (1) 教育機関及び社会教育関係団体の代表者
- (2) 学識経験者
- (3) 部落解放同盟上越支部の代表者

(委員の定数)

第 4 条 委員の定数は、13 人以内とする。

(委員の任期)

第 5 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

平成 29 年度（4 月～7 月）白山会館事業報告 ※報告は 7 月末までの実績です。

□白山会館事業

1. 人権教育推進事業

①小中学生学習会

学習会の参加を通して進路保障につながる学力の向上や仲間づくりを進め、差別に負けない子どもを育てることを目的に、毎週 2 回、白山会館で小中学生を対象とした学習会を開催する。

【7 月までの実績】

小学生学習会（5 人）水曜・金曜開催、午後 5 時～午後 6 時 30 分

開催回数 17 回 述べ参加人数 131 人（ほか、講師 43 人・保護者 5 人）

※学習会の参加人数には、対象児童だけではなく、ほかの町内会の小学生（対象児童の友人）も含まれています

中学生学習会（7 人）火曜・木曜開催、午後 7 時～9 時（10 月から午後 6 時 30 分～8 時 30 分）

開催回数 19 回 述べ参加人数 75 人（ほか、講師 38 人）

②学校教職員現地学習会

同和問題に対する正しい理解と認識を深め、人権教育における指導者としての資質向上を図ることを目的に、現地学習会を実施する。（講師は部落解放同盟上越支部より派遣）

【7 月までの実績】

開催回数 23 回 述べ参加人数 774 人（ほか、講師 65 人）

【参加状況】

○市内の学校

小学校 22 校（300 人）

中学校 8 校（142 人）

高等学校 1 校（12 人）

特別支援学校 2 校（65 人）

○市外の学校

小学校 3 校（39 人）

中学校 2 校（28 人）

高等学校 1 校（9 人）

特別支援学校 0 校

○市町村行政・県行政・他団体等

市内 3 団体 5 回開催（156 人）

市外 2 団体 2 回開催（23 人）

③人権に関する図書・ビデオの設置

人権に関する図書、資料等を購入し、白山会館所蔵図書の充実を図る。

【7 月までの実績】

○購入数 ・図書 14 冊（別紙 資料 1-3）

○蔵書数 ・図書数 462 冊 ・ビデオ、DVD 数 42 巻

④その他

【7月までの実績】

- すげ笠つくり講座（小千谷市そなえ館） 7月18日（火）
67人（東本町小学校児童64人 引率教員 3人）

2. 地域交流事業

交流事業を行い、地域住民と行政等の交流を積極的に図る。

【7月までの実績】

- バスハイキング（シーサイドパーク名立） 6月10日（土）54人 ※28年度65人参加

3. 貸館事業

白山会館の利用の拡大を図る。

【7月までの実績】

利 用 内 容	回数（回）	人数（人）
白山会館運営委員会	1	14
小中学生学習会	36	292
現地学習会	21	796
運動団体	4	52
町内会、子ども会等	7	177
合 計	69	1,331

□市民啓発事業

1. 研修会の開催

①人権を考える講話会

3年間で市内全小学校区で講話会の開催を計画している。学校、PTA・町内関係者、地域青少年健全育成会議等、地域の組織の協力を得て開催している。

平成29年度は16小学校区で実施予定。

【7月までの実績と年間予定】

回	開催日	小学校区	参加人数	回	開催日	小学校区	参加人数
1	6月15日	東本町小学校	40	10	11月15日	明治小学校	
2	6月28日	美守小学校	23	11	11月16日	諏訪小学校	
3	7月14日	高士小学校	41	12	11月16日	和田小学校	
4	9月7日	稲田小学校		13	11月21日	小猿屋小学校	
5	9月13日	豊原小学校		14	11月22日	三郷小学校	
6	9月14日	古城小学校		15	12月8日	下黒川小学校	
7	11月8日	中郷小学校		16	2月22日	針小学校	
8	11月9日	大手町小学校					
9	11月15日	春日小学校					

2. 講師派遣事業

各機関、団体からの要請に応じ、当課社会教育指導員を講師として派遣し、人権問題に関する研修会を実施する。

【7月までの実績】

回	開催日	要請団体	参加人数
1	6月13日	高田北城高等学校	26

3. 研修会への参加

各種研修会に職員を積極的に派遣し、職員の資質向上を図り、その成果を社会同和教育行政の推進に役立て、市民啓発にあたる。

【8月までの実績】

内容			場所	参加人数	
4月	19日	水	「部落差別解消推進法」に関する講演会	新潟市	1
5月	28日	日	部落解放同盟新潟県連合会第33定期大会	新潟市	3
6月	6日	火	第3回就職差別撤廃新潟県集会	新潟市	2
7月	6～7日	木金	第49回東日本研究集会（1泊2日）	群馬県みなかみ町	3
8月	3日	木	第25回新潟県同和教育研究集会	新潟市	6
	26～27日	土日	第62回関東女性大会（1泊2日）	群馬県みなかみ町	2

4. その他

- ・白山会館階段踊り場・2階廊下カーペット修繕
- ・事務室にコピー・ファックス複合機の設置
- ・人権に関する図書コーナーの移動

平成 29 年度 白山会館図書一覧(新規購入分)

No	書 籍 名	出版社	著 者
1	差別の現在	平凡社新書	好井 裕明
2	合理的配慮、差別的取扱いとは何か	解放出版	DPI 日本会議編
3	宣教師ザビエルと被差別民	筑摩書房	沖浦 和光
4	部落問題と向き合う若者たち	解放出版	内田 龍史
5	「おはなし おかわり」大阪の被差別部落の民話	解放出版	被差別部落の昔話制作実行委員会 編著
6	全国のあいつぐ差別事件 2016 年度版	解放出版	部落解放・人権政策確立要求中央実行委員会
7	Q&A 部落差別解消推進法	解放出版	部落解放同盟中央本部編
8	結婚差別の社会学	勁草書房	齋藤 直子
9	事例と対話で学ぶ『いじめ』の法的対応	エイデル研究所	いじめ問題研究会
10	被差別部落の歴史	明石書店	原田 伴彦
11	仏教と差別	明石書店	下西 忠、山口 幸照、小笠原 正仁
12	地域史のなかの部落問題	解放出版	黒川 みどり
13	阿賀の記憶、阿賀からの語り-語り部たちの新潟水俣病	新泉社	関 玲子 編
14	ノーモア・ミナマタ第2次新潟全被害者救済訴訟原告手記集 続 みばわるいすけ を乗り越えて	-	新潟水俣病阿賀の患者会、新潟水俣病弁護団、新潟水俣病共闘会議 編

上越市の同和対策事業・同和教育事業について

社会教育課

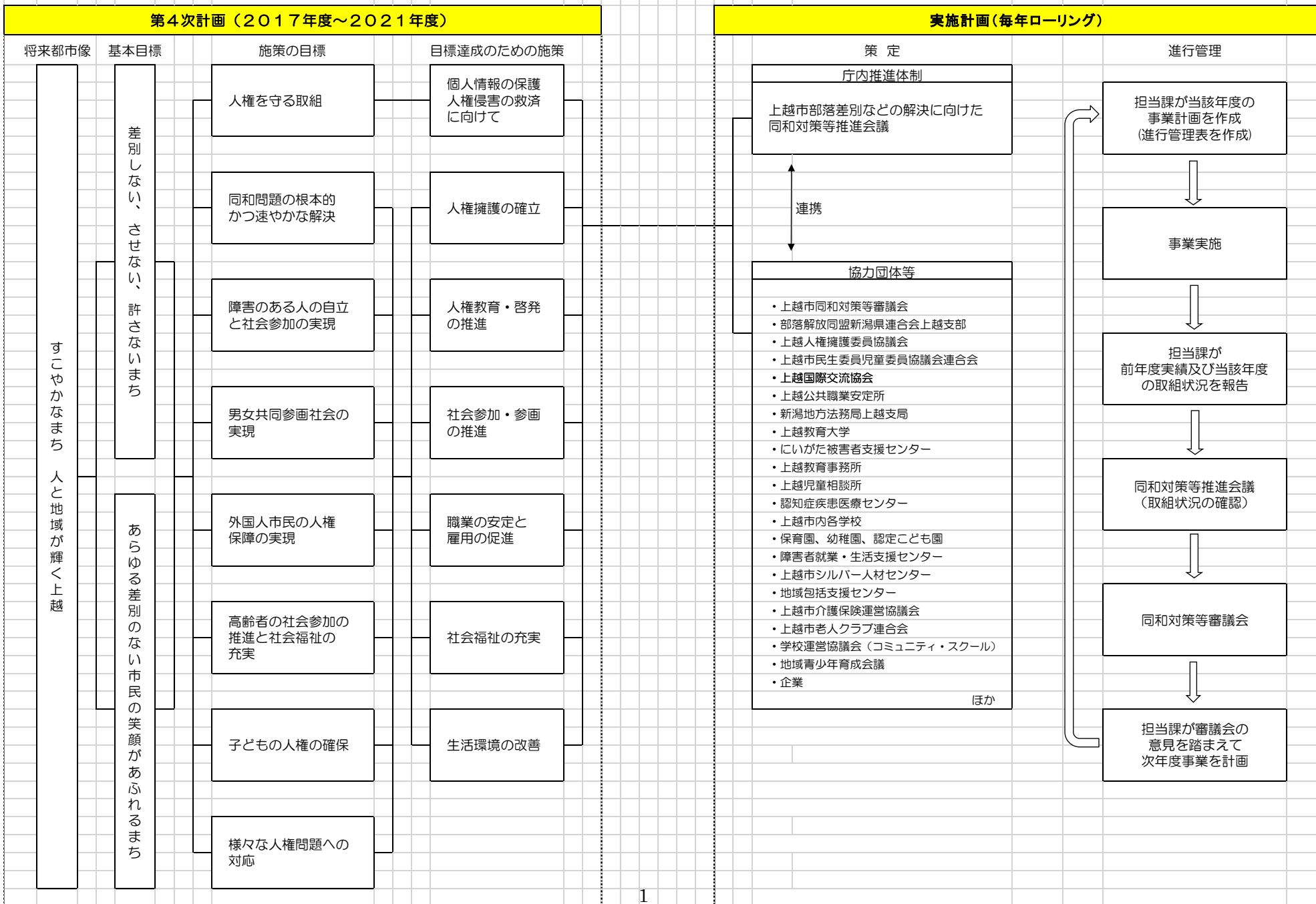
○上越市

- 【人権・同和対策室】
- 1 人権総合計画実施、計画の策定
 - 2 市民に対する啓発活動
 - (1) 「市民セミナー」の実施
 - (2) 街頭啓発の実施
 - (3) 市の広報誌やホームページ等による啓発
 - (4) 中学校区人権問題講演会の実施
 - (5) 「地域人権懇談会」の開催
 - 3 企業への啓発活動
 - 4 市職員に対する研修・学習会
 - (1) 職階別の職員研修の実施
 - (2) 職員フィールドワークの実施
 - (3) 運動団体の研修への参加
 - (4) 人権・同和教育啓発推進講座への参加
 - (5) 古文書等の取り扱いに関する担当者会議の開催

○上越市教育委員会

- 【学校教育課】
- 1 学校同和教育の推進の基本方針の設定
 - 2 各校への指導
 - (1) 上越学校教育実践上の「重点・実践の視点」を通しての指導
 - (2) 「同和教育研究指定地区制度」事業の推進
 - (3) 市教委学校訪問での指導
 - (4) 副読本「生きる」「にんげん」、「上越市学校同和教育実践のための手引書」の活用
 - (5) 同和教育啓発ビデオライブラリー等の活用
 - 3 各種同和教育研修会への参加
 - 4 視察研修
- 【社会教育課】
- 1 白山会館事業
 - (1) 小中学生学習会
 - (2) 学校教職員等現地学習会
 - (3) 人権に関する図書等の設置
 - (4) 地域交流事業
 - (5) いのち・愛・人権展への参加
 - 2 白山会館管理運営事業
 - 3 市民啓発事業
 - (1) 人権を考える講話会の開催（小学校区巡回、講師派遣）
 - (2) 各種同和教育研修会への参加

上越市第4次人権総合計画の体系図



平成 28 年度事業の報告

事業名	社会同和教育活動事業
決算額 (予算額)	2,943 千円 (3,069 千円)
事業内容	<p>○ 教職員現地学習会 実施期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 2 月 目 的：同和問題をはじめとする人権問題に対する学校教職員等の正しい理解と認識を深め、それぞれの実践に生かしていくことを目的に、教職員等を対象とした現地学習会を開催する。 内 容：学校等からの依頼に応じて、白山会館を会場に現地学習会を開催した。 参加者数：市内 76 校、市外 45 校、小中学校以外の 28 団体、計 1,942 人が参加した。</p> <p>○ 小中学生学習会 実施時期：平成 28 年 5 月～平成 29 年 3 月 目 的：基礎学力の向上や仲間づくりを進め、正しい人権意識を持った差別に負けない子どもを育てる。 内 容：小学生、中学生学習会とも週 2 回の学習会を白山会館で実施した。 (回数…小学生 69 回、中学生 71 回) 参加者数：小学生の参加延べ人数 452 人(対象者 5 人)、中学生の参加延べ人数 349 人(対象者 7 人)、計 801 人が参加した。</p> <p>○ 人権教育・啓発図書及びビデオの設置、貸出 内 容：市民、社会教育・学校教育関係者が実施する研修会や学習会、自己啓発のために人権教育・啓発図書やビデオ、DVD を配置し、無料で貸し出す。 今年度実績：図書（白山会館設置） 配置 448 冊（貸出 4 件） ビデオ、DVD（社会教育課設置） 配置 42 巻（貸出 2 件） （視聴覚ライブラリーの人権・同和教育関係の DVD の紹介 ※貸出 102 件） 新規購入：図書 17 冊、寄付 3 冊</p> <p>○ 人権を考える講話会 実施期間：平成 28 年 6 月～平成 29 年 1 月 目 的：小学校区を単位として、PTA や町内会など地域住民を対象に人権を考える講話会を開催し、人権や差別について共に考え、差別やいじめのない社会を目指す。(3 年で全 52 小学校区を一巡する。平成 27 年度から、4 巡目を開始) 内 容：同和問題をはじめとする人権をテーマに、社会教育指導員が講話を行った。講話後、意見交換の時間を設け、理解を深めた。 計画実施校以外にも、高校や教育関係団体などからの講師派遣依頼を受けて、講話会を開催した。 参加者数：17 小学校区で実施し、地域住民等 515 人が参加した。その他、高田北城高等学校、吉川高等特別支援学校、妙高市等 9 会場で実施し、844 人が参加した。</p>
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習会は、市内の小中学校や団体のほか、市外の小中学校や高等学校からの参加校が増え、参加した教職員等に同和問題や同和教育について正しい理解が広まっている。夏季休業中に開催が集中することや講師の人数減など課題もあるが、今後も現地学習会を継続していくため、講師を派遣いただいている部落解放同盟上越支部と協議する。 ・小中学生学習会は、対象となる小中学生が友達を連れて一緒に学習している姿が見られ、地区の子どもたちの仲間づくりの場となっている。

平成 29 年度 9 月以降の研修会予定

内容				場所
9 月	20 日	水	人権・同和センター養成講座参加	上越市
	30 日	土	部落解放第 34 回新潟県研究集会	新発田市
10 月	12 日	水	人権・同和センター養成講座参加	上越市
11 月	4 日	金	社会同和教育市町村巡会研修会	上越市立雄志中学校
	17 日	金	同和教育研修会	東本町小学校
	29 日	水	「いのち・愛・人権」展	阿賀野市
12 月			もちつき大会	白山会館
1 月	上旬		解放同盟上越支部旗びらき	高陽荘
	26 日	金	全国人権同和教育研究協議会 北陸大会	上越市
2 月	上旬		部落解放新潟県連合会旗びらき	新潟市

9 月 30 日（土）「部落解放第 34 回新潟県研究集会」については、本日案内文書を配布しました。
参加を希望される方は、9 月 5 日（水）までに、社会教育課 社会教育係 市川（TEL 025-545-9245）までご連絡ください。

当日は教育プラザから送迎バスを使用します。また、参加資料代は社会教育課が負担します。